



希望通り郡山総合車両センターへ 鈴木康一氏（台車分会）

JR職場復帰実現!!5月1日付

鈴木氏は、二〇〇七年一月に仙台車両センターから幹線TKKに発令されて以降、自身の体調の問題を訴えつつ、郡山からモーター通勤の解消を求め、郡山地区への転勤を希望し続けていました。今回の異動は支部として、JRとの和解以降、出向からの復帰では二例目、転勤を含めて三度目の希望職場への復帰の実現となりました。会社側の対応の変化を実感できる結果と言えると思います。

支部としてこの間、鈴木氏本人はもとより、台車分会との連携を強化しながら運動を進め、支部のみならず、仙台地本、郡山工場支部の指導・協力を得ることにより力強く運動を進めることができました。

出向期間の再度にわたる延長問題等、課題が残りますが、今回の鈴木氏の発令は、出向の期間満了を待たずにJR復帰が実現という成果もありました。引き続き転勤問題等、残された課題の解消に向けての運動強化が求められています。

台車分会が激励会を開催

（4月26日）

鈴木氏の異動が5月1日付ということもあり、急ぎよ台車分会で激励会が開かれました。

おりしも東日本大震災の直後であり被災等の影響等も考慮されましたが、この様な時だからこそ鈴木氏を励ます行動をと、利府コミにおいて静かな中にも和やかに行われ、鈴木氏から「国労組合員として郡山で頑張りたい」と挨拶がありました。

激励会には、地本・橋本委員長、支部・庄司委員長も出席しています。

第13回 国労東日本本部軟式野球大会 の開催延期について

第13回国労東日本本部軟式野球大会について、5月19日（20日）の予定で、準備を進めてきました。

しかし、3月11日の東日本大震災が生じたことを踏まえ、現状、被災者、被災地への支援に集中して取り組んでおり、第9回東日本本部執行委員会で「延期」することを決定いたしました。

故 鈴木富士夫氏遺族支援募金の御礼

昨年暮れから皆さんにご協力を得ながら取り組みました病氣療養中、現職で亡くなられた国労仙台電車区分会故・鈴木富士夫氏のご家族に対する支援募金について、多くの方より多額の募金を集約することができました。この取り組みに対し、仙台地本・仙台電車区分会、D51合唱団連名でお礼状が届きましたので紙面にて報告します。

故 鈴木富士夫氏

遺族支援募金の御礼

3月11日に発生した「東日本大震災」は未曾有の大災害をもたらしました。この大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。

さて、仙台電車区分会の故・鈴木富士夫氏のご遺族に対する遺族支援募金の取り組みを昨年暮れから2月まで各地地本内、支部及び分会の組合員のみならず、お願ひしたところ多くの組合員のみならず、3月はじめに寄せいただきました。3月はじめには集計を終えて春彼岸には故人の墓参りを兼ねてご遺族にお会いして手渡す予定でございましたが、大震災に見舞われ機会を逃してしまいました。巨理町の自宅は床上まで浸水してまして3月中避難所にて過ごしたそう

国労東日本本部軟式野球大会は、隔年毎に開催していましたが、一年間延期し来年度開催を予定となります。そして、来年度を起点として隔年開催となります。

また、来年度の開催について、今後、野球審判団、東京地本の関係者と協議していくことになりました。

す。4月から自宅に戻り2階の部屋でなんとか日常の生活を取り戻しております。

去る4月17日、奥さんと娘さんの2人に国労会館に来ていただき全国各地の仲間から届いている救援物資を選んでいただきました。ほとんどの家電製品と日用品が水に浸かりがっかりしていた矢先だけに救援物資に大変喜んでおられました。その時に皆さん方からお寄せいただき集約した「遺族支援募金70万円」を手渡すことができたので御礼を申し上げます。報告にかえさせていただきます。

二〇一一年4月18日

国労仙台地方本部執行委員長

橋本 昭二

仙台電車区分会執行委員長

我妻 美津男

D51合唱団

団長

高橋 和彦